

北海道浮魚ニュース

平成 29 (2017) 年度 2 号

2017 年 4 月 28 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4月28日、第1回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は本州各府県を主な対象とした漁期前半(5月~7月)の予報です。

なお、この予報は水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し (2017年5月~7月)

対象魚種 : スルメイカ

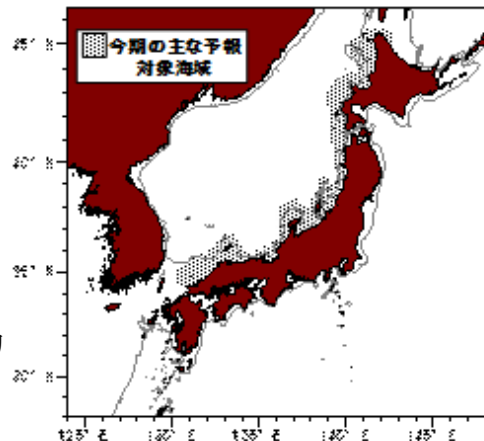
対象海域 : 日本海

対象漁業 : 主にいか釣り漁業

対象魚群 : 主に秋季発生系群

- (1) 来遊量 : 不漁であった前年並で近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場 : 漁期の開始時期は前年及び近年平均並。

※近年とは過去5年(2012~2016年)



・2016年10~11月に実施した幼生分布調査で、今期(5月~7月)の漁獲対象となる幼生の平均分布密度は2015年および近年平均を下回りました。2017年4月に実施した新規加入量調査では、今期の漁獲対象となる外套背長5cm以上のスルメイカの1調査点あたり採集尾数は2016年を上回りましたが近年平均を下回りました。以上の結果をもとに、今期の来遊量は近年平均を下回り、不漁であった前年並みとなると予想されました。

・気象庁による海況予報では日本海の4月~6月の対馬暖流域の表面水温および水深50mの水温は平年よりも「やや高め」と予測されています。前年及び近年(過去5年)もおおむね平年より高めで推移したことから、漁期の開始は前年及び近年平均並と予想されました。ただし海域ごとの来遊時期はその時々水温状況によって大きく変化すると考えられます。

今後の北海道日本海へのスルメイカ来遊状況に関しては、函館水試調査船金星丸により実施する5月下旬の日本海北上期調査および6月下旬の日本海漁場一斉調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については7月に第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせします。

(函館水産試験場調査研究部、TEL : 0138-83-2893、FAX : 0138-83-2849)